

慶應義塾大学 vs 国士舘大学

11月9日(土)
13:50K.O.
保土ヶ谷

慶大に一筋の光が差し込んできた。前節の順大戦は苦しみながらも1-0で勝点3をもぎ取り、10位・順大との差を1ポイントとした。降格圏脱出まであと一歩。とにかく、守備の部分を徹底している。

「しっかりとボールにこう。カバーリングをやろう。チャレンジ&カバーのところをやろう。とにかく、失点しないことを第一にやっている」(須田芳正監督)

それが功を奏している格好。後半戦の序盤は失点が止まらなかったが、ここ数試合は少なくなっており、前節では無失点に抑えた。

「ディフェンスが安定してきたのはいいこと。しかし、まだ降格圏内の順位だし、勝ち続けなければいけない。前から守備をしっかりと、まずは失点しないことを次の試合でも心がけ、そこからしっかりと攻撃につなげていきたい。一人もさぼらずに、まじめにプレーし続ける。それしかない」(須田監督)

前半戦を最下位で折り返した国士大だが、現在は4位まで順位を上げた。後半戦、ここまで6勝4分と負けなし。やや引き分けが多いものの、負け強い強さを持っている。前節の筑波大戦は前半18分に先制点を奪われたものの、43分に同点に追いついた。

好調時に比べ、ここにきて攻撃に迫力がないのは気がかりだが、安定した力を発揮しているだけに大崩れはしないだろう。後半に入って攻撃のバリエーションも増えたのも好材料だ。

慶大はしっかりと守ってることが予想されるが、セットプレーからしっかりとゴールを取れるという強みもある。残り3試合、負けなしで走りきることができるのか。注目が集まる。

警告3回：久保飛翔、松下純土(以上慶大)

前回の対戦：慶大3-2(シュート数13-11)国士大

慶大				国士大			
4. 保田	5. 増田	26. 佐々木	2. 石川				
22. 久保	9. 平戸	10. 新村	13. 仲島				
	20. 端山		20. 松本				
12. 福本			21. 久保田				
	8. 松下		7. 橋本				
13. 望月	10. 武藤	16. 平松	4. 今瀬				
19. 溝渕	2. 岩田	14. 進藤	12. 加藤				

日本体育大学 vs 流通経済大学

11月10日(日)
13:50K.O.
たつこの

前半戦を3位で折り返しながら、後半戦はまったく元気がない日体大。順位も9位と残留争いをしており、前節の桐蔭大戦は0-0のドローに終わった。

「どうしても勝ちたい試合だった。なかなか得点に結びつけられない。少ないチャンスを決められるか、決められないかが今後の課題になってくると思う」(倉又寿雄監督)

なかなか安定しなかった守備陣が、ここ2試合は無失点で抑えているだけに、あとは攻撃面をしっかりと修正して勝点3に結びつけていきたいところ。

「決定力のところが必要になる」(倉又監督)

まだまだ多くのチャンスを作るには至っていないだけに、少ないチャンスをいかにゴールに直結させるか。

「残り3試合のうちの1試合。目の前の1試合を大事に戦って勝てるようにしたい」(倉又監督)

総理大臣杯を制し、すでにインカレの出場権を手に入れている流経大にとって、まずは残留を確定させることが第一だ。前節の東洋大戦は守備陣が奮闘し、2-0の完封勝ちを収めた。11位・慶大との勝点差は、残り3試合で6ポイント。まだ確定はしていないが、安全圏に入ったといえるだろう。

「無失点で終えることができたし、2ゴールできたので70点ぐらいの出来」と、中野雄二監督も合格点を与えた。

いろいろメンバーを変更し試行錯誤の最中。最近のディフェンスラインは下級生が多いが、そのなかで無失点に抑えられたのは今後につながる。一方で立ち上がりに2ゴールを奪いながら、なかなか攻め手を作ることができなかったのは課題だ。

警告3回：阿部潤、宮内啓汰(以上日体大)

前回の対戦：日体大2-0(シュート数11-8)流経大

日体大				流経大			
2. 宮内	15. 阿部	23. 森保	35. 佐々木				
5. 中西	9. 田中		5. 川崎裕				
	10. 稲垣		10. 椎名				
21. 大野		18. 田上	33. 山岸	1. 八巻			
	6. 石井		37. 鈴木				
4. 菊地	11. 北脇		39. 塚川				
24. 横野	7. 梅村	40. 川崎雄	28. 藤原				

※布陣は前節のメンバーを参考にした予想

JR東日本カップ 2013 第87回 関東大学サッカーリーグ戦



OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM

VOL.25-NO.20 Division1



編集：加茂郁実 発行：関東大学サッカー連盟 協力：関東大学サッカーサポーターズクラブ

専大、2試合勝ち星なしも今節勝利で優勝決定!

いよいよ終盤を迎えた「JR東日本カップ 第87回関東大学サッカーリーグ戦」。前節で専大の優勝の可能性もあったが、その試合も含めて前節を振り返る。

まず、18節で筑波大に0-2の完封負けを喫した専大。前節の中大戦も守備が安定せず、7分までに2失点といきなり窮地に追い込まれた。それでも、後半に2ゴールを奪って何とか引き分けに持ち込んだが、ここ2試合、やや精彩に欠ける内容だ。

専大を追いかける早大にとっては、一気に差を縮めるチャンスが到来。前節は明大との対戦だったが、前半10分に先制点を奪った。しかし、42分に同点に追いつかれ、結局引き分けに終わり、残り3試合で勝点差7ポイント。数字上は可能性が残っているものの、逆転Vは難しくなった。

専大を破って波に乗る筑波大は、後半戦負けなしと好調の国士大と対戦。筑波大が先制点を奪ったが、国士大も負けじと前半のうちに同点に追いついた。後半は両チームともに決め手に欠き、試合は1-1の引き分け。これで、3位・筑波大は優勝の可能性がなくなり、専大と早大の2チームに絞られた。

日体大と桐蔭大の一戦は白熱したゲーム展開となったが、どちらも譲らず0-0の引き分けに終わった。

得点ランキング

仲川 輝人(専大) 13点
長澤 和輝(専大) 10点
榎本 大希(早大) 10点

アシストラランキング

橋本 拓門(国士大) 7アシスト
中野 嘉大(筑波大) 5アシスト
砂川 優太郎(中大) 5アシスト
仲川 輝人(専大) 5アシスト
長澤 和輝(専大) 5アシスト

残留に必死の流経大と東洋大の一戦は、流経大に軍配。2-0で東洋大を下し、残留争いから一歩抜け出した。東洋大は苦しくなった。

こちらも残留争いの大勝負となった慶大と順大のゲームだが、慶大が意地を見せて1-0の勝利を収めた。慶大は10位・順大に勝点1差。残り3戦で抜け出すことができるか!?

今節、専大が勝てばその時点で優勝が決定。負けや引き分けでも、早大の結果次第では優勝が決まる。ここ2試合で勝点は1と調子が上がらない専大だが、スッキリ優勝を決めることができるか!?

なお、2部から1部に昇格する2チームが前節で決定。東国大と駒大が昇格する。

JR東日本カップ 2013 [第87回] 関東大学サッカーリーグ戦 星取表

順位	チーム名	専大	早大	筑波大	国士大	中大	明大	流経大	桐蔭大	日体大	順大	慶大	東洋大	試合数	勝	分	負	得点	失点	得失差	勝点
1	専大	201	201	201	502	401	203	602	1Δ1	201	601	301	19	13	3	3	47	23	24	42	
2	早大	102	味ファイ西	100	201	201	300	1Δ1	1Δ1	001	201	100	19	10	5	4	30	25	5	35	
3	筑波大	102	001	200	301	102	002	0Δ0	1Δ1	100	302	301	102	19	8	6	5	34	24	10	30
4	国士大	102	102	201	1Δ1	1Δ1	11月16日	1Δ1	401	301	11月23日	300	11月9日	19	8	4	7	31	28	3	28
5	中大	205	102	200	102	301	0Δ0	1Δ1	001	200	1Δ1	100	1Δ1	19	7	6	6	34	25	9	27
6	明大	104	102	0Δ0	201	103	0Δ0	0Δ0	302	0Δ0	401	2Δ2	001	19	7	6	6	29	25	4	27
7	流経大	302	003	1Δ1	1Δ1	0Δ0	0Δ0	100	002	0Δ0	301	100	19	6	7	6	21	26	-5	25	
8	桐蔭大	206	1Δ1	001	100	1Δ1	203	301	100	11月10日	2Δ2	11月23日	200	19	7	3	9	25	35	-10	24
9	日体大	1Δ1	1Δ1	203	100	100	0Δ0	200	001	0Δ0	1Δ1	102	301	19	5	6	8	22	28	-6	21
10	順大	102	100	103	500	002	104	0Δ0	203	1Δ1	602	2Δ2	19	5	5	9	32	31	1	20	
11	慶大	106	102	201	302	001	2Δ2	103	102	201	206	201	19	6	1	12	24	47	-23	19	
12	東洋大	001	102	003	保土ヶ谷	106	002	たつこの	104	302	100	11月17日	19	4	4	11	27	39	-12	16	

体育会学生のための
リクナビ就職エージェント

自分を超えて、進もう。

部活と就活にエールを送る! 体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」
http://job.rikunabi.com/agent/athlete/info02/

RECRUIT

明治大学 vs 順天堂大学

11月9日(土)
11:30K.O.
江戸陸

現在6位と、インカレ出場に向けてギリギリのラインにいる明大。3位以下はかなり拮抗した争いが繰り広げられているだけに、残り3試合も厳しい戦いが続く。前節は2位・早大とのゲームだったが、前半10分に失点したものの決して焦らず、しっかりと42分に同点に追いついた。しかし、そこから勝点3に結びつけることはできなかった。

「インカレ出場に向けて、一戦も落とせない状況だっただけに、早大戦は絶対に勝利がほしかった。引き分けて残念。十分に勝てた試合」(神川明彦監督)

調子は上がってきているものの勝ちきれないなど、本調子まであと一歩。立ち上がりのチャンスを決めきつていれば展開は大きく変わっただけに、まずはチャンスを得点に結びつけたいところだ。

一方の順大は前節、慶大に0-1で敗れた。11位・慶大との勝点差はわずかに1ポイント。残り3試合は上位の明大、国士大、筑波大が相手だけに、非常に苦しい状況だ。

今年の順大は波が激しい。いいときは非常にいいサッカーをするが、この日のように自分たちのサッカーを体現できないことも多い。

「チームコンセプトが守備なのに、ボールを奪うところできていないし、なぜできていないかを理解していない。思考がバラバラ。また、攻撃面ではロングボールが多くなってしまったのが反省点」(吉村雅文監督)

残留争いのプレッシャーからか思うようなプレーができていないが、冷静に自分たちのサッカーを見つめ直せば必ず体現できるはず。残り3試合、しっかりと戦い残留を果たしたい。

出場停止: 鈴木達也、下川照平(以上明大) 警告3回: 和泉竜司(明大)、宮本和輝(順大)

前回の対戦: 明大4-1(シュート数11-3) 順大

明大		順大	
15. 高橋	27. 石原	10. 井村	16. 吉永
4. 小出	33. 苅部		3. 清水
	16. 差波	8. 天野	
1. 三浦		11. 原田	15. 青木
	6. 水野		21. 大畑
3. 山越	8. 和泉	14. 長谷川	5. 新井
12. 室屋	34. 田中	7. 和田	
			13. 宮本

筑波大学 vs 東洋大学

11月9日(土)
13:50K.O.
たつこの

後半戦、ここまで7勝2分1敗と好調な筑波大。前節はやはり好調の国士大との対戦だったが、1-1の引き分けに終わった。

リーグ終盤にきて、特に攻撃の選手にケガ人が出ている。18節の専大戦では2ゴールを奪ったものの、その3日前の慶大戦、そして前節の国士大戦といずれも1ゴールに終わり、やや攻撃に迫力がないのは気がかりだ。

調子がいいときは流れるようなパス回しが特長の筑波大だが、前節は流れがストップする場面も見られた。また、FKから失点しただけに、セットプレーの守備にも注意が必要だろう。とはいえ安定した力を発揮しているのは間違いなく、順位は3位。優勝の可能性は消えたが、2位・早大との勝点差は5。追いつけるか!?

ようやく調子を取り戻してきた東洋大。結果も出てきているが、なかなか降格圏外に脱出できず苦しんでいる。前節の流経大戦も試合内容自体は悪くなかったが、前半9分までに2失点してしまい、0-2の敗戦。

「立ち上がりの2失点でゲームプランが崩れてしまった。その後、数多くのゴールチャンスを作っていたのはよかったが……」(古川毅監督)

というように2失点後はしっかりと立て直していただ

けに、本当にもったいない立ち上がりだったというしかない。リーグ戦中盤に入って守備の安定を図ってきたながらの2失点だけに、どうしても悔いが残る。

「ロングボールに対して、セカンドボールを拾うというところで後手を踏んでしまった。内容はもちろん大事だが、残留ということも考えれば、結果を大事にしなければいけないかった」(古川監督)

崖っぷちの戦いが続く。

警告3回: 上村岬、谷口彰悟、中野嘉大、若杉拓哉(以上筑波大)

前回の対戦: 筑波大5-5(シュート数10-15) 東洋大

筑波大		東洋大	
12. 三丸	13. 曾山	11. 黒須	7. 馬渡
5. 車屋	14. 前原		6. 石川
	7. 葺本	10. 桑田	
1. 神舎		13. 川森	4. 郡司
	3. 谷口		1. 浅沼
17. 西村	19. 若杉	8. 年森	
			3. 鈴木
18. 早川	25. 武内	29. 仙頭	16. 筑井

専修大学 vs 桐蔭横浜大学

11月9日(土)
13:50K.O.
江戸陸

ここにきてつまづいているのが首位・専大。18節で筑波大に黒星を喫すると、前節も中大に2-2のドロー。しかし、前半7分までに2失点し、苦しい状況から後半同点に追いついた底力はさすがだ。この日はこれまでの3バックから4バックに戻して試合に臨んだが、立ち上がり、やや浮き足立ってしまい、ラインがそろわなかったのが問題。守備陣は今節2人が出場停止と苦しい状況が続く。一方の攻撃面でも後半に2点を取ったが、やはり後半戦ずっと課題である決定力の部分と、「中へ、中へとってしまい、外へシンプルに開けなかった」(源平貴久監督)

全体的にゴール前に目が行きすぎる傾向があるだけに、守備を含めて視野を広くしたい。

「桐蔭大には天皇杯の神奈川県予選決勝で負けている。借りを返したい」(源平監督)

その桐蔭大だが、前節の日体大戦は2人が出場停止。苦しい中でのゲームとなったが、さらに前半のアディショナルタイムに退場者を出してしまった。それでも、試合は何とか引き分けに持ち込み、

「無失点に抑えられたのはよかった」(八城修監督)

守備陣の奮闘は素晴らしかった。

しかし、前節に引き続き今節も3人の出場停止で、苦しい状況は変わらない。必死なプレーがどうしてもファウルとなってしまう苦しい状況に陥っているだけに、状況を打開したいところだ。なかなか結果に結びつかないが、もう一度、思いきりのいいプレーを心がけたい。

「首位の専大とのゲームなので、思いきりやりたい」(八城監督)

出場停止: 河津良一、小口大貴(以上専大)、古澤慶太、大野誠、大泉和也(以上桐蔭大) 警告3回: 仲川輝人、前澤甲気(以上専大)、山根視来(桐蔭大)

前回の対戦: 専大6-2(シュート数23-5) 桐蔭大

専大		桐蔭大	
38. 飯田	11. 前澤	8. 山崎	18. 剣
54. 玉田		20. 今関	3. 香西
	8. 下田		7. 平山
1. 福島	7. 長澤	22. 山川	
	14. 星野		1. 島崎
15. 篠崎		5. 金子	
		10. 坪井	6. 福島
2. 北爪	10. 仲川	24. 石堂	16. 長谷

早稲田大学 vs 中央大学

11月9日(土)
13:50K.O.
古河

逆転優勝にわずかな望みをかける早大。何としても勝ち続けるしかない状況だったが、前節の明大戦は前半10分に先制点を奪いながらも、42分に同点に追いつかれた。結局、後半に2点目を奪うことはできず、1-1のドローに終わった。専大も引き分けたため、首位との差は残り3試合で7ポイントのまま。負ければその時点で専大の優勝が決まってしまうのはもちろん、自分たちが勝っても専大が勝てば、その時点で優勝が決まるというところまで追い込まれてしまった。

「勝たなければいけない試合だった。明大の壁を乗り越えなかった。いい時間帯に先制点が取れたし、その後も自分たちの時間帯があったので2点目を奪いたかった」(古賀聡監督)

その2点目が奪えず、痛恨のドロー。特に、後半戦に入って無失点で終えている試合がないのは気がかりだ。「中大は質の高い攻撃力を持っているので、もう一度ボールを奪う守備のところを高め、奪ってからの早い動きでゴールに結びつけて、絶対に勝点3を取りたい」(古賀監督)

前節の専大戦では前半6分、7分にゴールを奪い、早い時間帯で2点をリードした中大だったが、結果は後半

に2失点してしまい、2-2の引き分け。「もっと強くしていかなければいけないと実感したゲームだった」(白須真介監督)

前半はスピードもあり、突破できる選手を生かして主導権を握るという理想どおりのゲームを展開したが、それが後半、続かなかった。リードしていると、やや前に出ていけなくなる傾向があるだけに、最後までアグレッシブさを失わないプレーを心がけたい。

警告3回: 中田航平(早大)、岡崎亮平、細見諒(以上中大)

前回の対戦: 早大2-1(シュート数12-5) 中大

早大		中大	
6. 三竿	8. 近藤洋	7. 砂川	31. 高橋
3. 金沢	10. 榎本		3. 大和田
	5. 池西		8. 田辺
21. 阿部		11. 川越	25. 渋谷
	4. 中田		1. シュミット
2. 奥山	25. 宮本		4. 細見
			12. 小出
26. 西山	7. 近藤貴	10. 澤田	6. 高瀬

※布陣は前節のメンバーを参考にした予想